

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

彩の国東大宮メディカルセンターでは、当院の倫理・臨床研究治験委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡ください。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意志であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心ください。

研究課題名 (研究番号)	大腿骨頸部骨折術後患者へのデノスマブ投与は臨床骨折・死亡率を減少させるか (NO.35)
研究責任者 (所属)	米本直史 (整形外科)
研究実施期間	2021/4/9～2024/3/31
研究等の概要	Zoledronic acid and clinical fractures and mortality after hip fracture (N Eng J med. 2007) において、大腿骨近位部患者の術後ゾレドロン酸投与により臨床骨折 (病院受診を要する骨折) の発症抑制や死亡率低下が示されている。本研究の目的は、ゾレドロン酸と同等の骨折抑制効果・骨密度上昇効果が示されているデノスマブを、大腿骨近位部骨折患者に投与することで、臨床骨折や死亡率が減少するかを検討することである。 対象は倫理委員会承認日から約 1 年の間に当院にて入院手術治療を受ける大腿骨近位部脆弱性骨折患者約 200 名。介入を伴う前向き研究。大腿骨近位部骨折術後にデノスマブ皮下注射を行い、臨床骨折の発生や骨密度変化や血清 Ca 値変化を計測し、生存・死亡を約 2 年間観察する。得られたデータを大腿骨近位部骨折患者の二次骨折発生率や生命予後に関する過去の報告と比較検討する。
個人情報の取扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除いたします。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
問い合わせ窓口	臨床研究事務局 電話：048-665-6111